

# 射水

射水神社社報 平成20年6月発行

第10号



## ご挨拶

射水神社宮司 松本正昭

日本の伝統文化は、人のさまざまな日々の暮らしに、四季折々の自然との調和によって生まれ育まれ継承されてきた。その文化の根源を担ったのはおむね信仰から発することが多い。日本の豊かな自然は人をその懐に包みこみ、人もまた、自然そのものに脅威と恵みを兼ね備えた人間を超えた存在を感じ取り、神として崇め信仰の対象としてきた。人と自然との関りを表現したのが神話であり・その土地に根付いた風土記・説話である。

この高岡の地にも説話がある。神の山と仰がれた二上山の中腹（前の御前）に鎮座する射水神社撰社「悪王子社」に悪王子伝説が語り伝えられている。

「神代の頃より、悪王子の神が二上山を護っていた。その悪王子神が越中一円から年齢十五歳以上の娘を毎月五

人、年間六十人を人見御供として荻布村まな板橋に献ずることを強要し、その見返りに順調な天候と五穀豊穡を約束した。……」

この説話の中の悪王子神は、「灵力」があり「大忌神」であることを意味する。大忌神の「忌」は齋イヒの意であり、大いに齋いひま祀れば風水害もなく五穀豊穡を齎いたしてくれる神であり、しかし祀りを怠れば大いにタタリをおこす神である。毎月五人の人見御供の意味するところは、度々起こる射水川（小矢部川）千保川（庄川）の氾濫により死者がでるほどの自然の脅威に対し、祀り事の厳守する事を指す。そして越中一円から人見御供を強要したことは「二上山」の信仰形態を示すところである。

神話は創造的な現古に起こった出来事、ことに人生にとって本質的な、宇宙、人間、重要な文化要素の起源につ

いて語り、現在の存在秩序を基礎づけている。神話によって述べられたこの現古の出来事が、現在の自然と人間を基礎づけており、又、人が則るべき行動の規範を提供している。そして神話を根本にして地方地方に説話・民話が語られてきたのである。

昨今、社会状況が混沌とし、予期せぬ事件が頻繁に起きていることは、人が則るべき行動の規範の欠如に起因する。

さる三月二十八日付けで文部科学省は小学校の新学習指導要領の中に、小学校の国語教育で、神話・伝承などの本や文章を読み聞かせることが追加され、伝統文化の尊重も強調されたことは、社会浄化の第一歩であり、今後、教育の現場で正しく実行されることを期待するところである。

# 奉賛会通信

去る平成二十年五月二十九日、射水神社参集殿において、射水神社奉賛会の総会が開催され、前年度、奉賛会が行った事業である「観月祭」や、前年度の決算。ならびに本年度の予算が決議された。

そして総会議事終了後の基調講演は 富士山本宮 浅間大社 宮司 渡邊 新先生をお招きし「共生の文化と世界遺産登録の意義」と題し講演を賜った。古来より自然に畏敬の念をもって接してきた我が国の国民性に触れつつ、文化財はもとより、次代にもつなげてゆくべき「美しい日本語」である神話など、神社を中心として伝えて行かねばならぬ事の多さ、そしてそれら日本文化の根幹を、神職に限らず、当社奉賛会員の力を結集し、伝える努力を弛まずおこなって行くことが、世の中を変えることに繋がるのでは。といった力強いご講演を賜った。

尚、下段にて昨年度の新入会員、および奉賛会活動をお知らせする。

▼総会の模様



▲基調講演

## 【平成十九年度射水神社奉賛会活動報告】

一、恒例祭儀の奉賛

歳旦祭（一月一日）

祈年祭（二月十七日）

春季例祭（四月二十三日）

秋季大祭（九月十六日）

新嘗祭（十一月二十三日）

一、奉賛会員家内安全・生業繁栄祈願祭の実施

一、講演会主催（総会基調講演）

《講師》山元醸造株式会社

文化部長 山本和代子先生

《演題》『まぼろしの高岡城』

一、第二十八回射水神社奉納書道展

（七月二十七日〜二十九日）の協賛

※奉賛会長賞、奉賛会賞

一、第二回観月祭齋行

（九月十五日 午後七時〜九時半）

※前回より若干多い五五〇名入場

一、社報発刊の協賛（年二回）会員より寄稿

第八回 高岡市農業協同組合 代表理事組合長 穴田基朗様

第九回 有限会社又蒲鋒商店 代表取締役社長 広野吉隆様

一、理事会の開催（二十年二月十九日）

以上

## 【平成十九年度加入会員】

・山内神仏具店

・山崎モーターズ

・高岡マンテンホテル



▲観月祭



▲書道展表彰式

# 祭事

## あれこれ

### 杜の景色（上半期）

- 1月1日 歳旦祭 初詣
- 1月14日 左義長  
（射水の火祭）
- 2月節分 節分祭
- 2月11日 紀元祭
- 2月17日 祈年祭
- 4月18日 日吉社春祭
- 4月23日 春季例大祭
- 4月29日 植樹祭
- 4月30日 院内社春祭
- 5月13日 悪王子社春祭
- 6月27日 鎮火祭
- 6月30日 夏越大祓  
人形清祓式

今号は境外末社の祭りをご紹介致します。

### 日吉社

四月十八日が日吉社の春祭りでございます。

二上山頂第一の峰（俗称、奥の御前）に鎮座しており、その標高は二百七十四米と、数値のみを見れば高山と比べ、見劣りする高さだと思われませんが、富山平野全体を眼下に見下ろすことのできる景勝地であります。



### 悪王子社

五月十三日に悪王子社の例祭が斎行されました。二上山第二の峰（俗称 前の御前）に鎮座する同社は、昨年秋季に境内地の整備を行いました。本年は暖冬の影響もあり、降雪による劣化も少なかったと思われませんが、何れにせよ遠隔地であるため細心の注意を払っているところであります。



### 院内社

四月二十七日に院内社の春祭りが行われました。高岡市二上地内にある、山園町の方々が中心となり祭祀を執り行っております。

先年、その山園町の自治会長さんが、郷土の歴史を後世に伝えようと、一編の冊子を刊行されました。今後の研究進捗を当社でも期待しております。



## 夏越の『大祓』ご案内

- 一、日時 六月三十日  
午後六時齋行
- 一、場所 射水神社境内
- 一、初穂料 お心持ち

## 人形清祓式のご案内

- 一、日時 六月三十日  
午後六時齋行
- 一、人形受付 午後一時～午後五時まで
- 一、初穂料 志ですが二千円程度が目安です。



## 神前結婚式

御神恩をいただき、幸おおからん事を。

### 平成19年12月挙式の方々

池原 泰成・浩子  
若林 広樹・智恵美  
坂口 勝彦・圭子  
釣 雅夫・沙絵子  
柳瀬 康宏・かおり  
前田 昌則・和泉  
四十九 隆史・未来  
中島 良輔・優子  
澤田 憲・明子  
多嶋 俊輔・亜由美  
大橋 純夫・裕美  
吉村 始美・千賀子

### 平成20年1月挙式の方々

宮下 洋希・侑希  
表 義人・幸江

### 平成20年2月挙式の方々

棚池 祐斗・千恵美  
北林 大佑・歩  
海津 憲太郎・弘美

### 平成20年3月挙式の方々

寺尾 宏・真由美  
大和 宏彰・亜紀  
金吹 一範・小百合  
渋谷 幸司・香織  
米澤 隆利・和美  
森 誠・香奈恵  
宮村 幸太郎・梨恵  
金森 弘昌・陽子  
鶴井 了太・絵理  
塚本 政彦・響子  
梶澤 健太郎・有希  
角 武久・裕子  
炭谷 弘記・安津子  
藤重 直樹・貴子

### 平成20年4月挙式の方々

大倉 英治・恵美  
松沢 尚如・安津  
長田 圭史・委月子  
鷺北 敦夫・洋子

瀧田 淳・留美  
石田 岳大・紀子  
太田 淳・幸恵  
生田 篤洋・奈津子  
千賤 賢一・絵美  
鳴海 裕矢・麻衣  
新明 兼治・朋香  
山崎 真・慶子  
荒木 雅裕・めぐみ

### 平成20年5月挙式の方々

岩崎 宏・藍  
橘 啓・里美  
嶋 耕平・里江  
堀 知弘・享子  
関 翔太・由可子  
石田 林太郎・雅子  
大井山 肇・加奈子  
森田 恭弘・晴美  
中嶋 誠一・真理子

平成19年12月～平成20年5月挙式の方々

# 越中の食彩

鮭 齋藤秀俊

## 氷見のマグロ

毎年5月も下旬になると、一本60kg以上の大きなマグロが氷見の定置網に入ってくる。我々富山県民が初夏の訪れを感じる時でもある。マグロと言えば日本人にとって、マグロそのものの姿にお目にかかることは少ないが、それでも最も馴染みのある魚の一つである。一口にマグロと言っても、クロマグロ・メバチ・ビンナガ・キハタなどの種類があるが、中でもクロマグロはホンマグロと呼ばれ、体長3m、体重300kgにも達する大きな魚で、マグロの仲間では最も大きく、肉は赤身でとくに背や腹の霜降り状の部分がトロでとける様な格別の美味しさがある。

ホンマグロの脂身(トロ)は現代では高級魚である。縄文時代から食され、真逆か江戸時代には脂身は下品とされ捨てられていたと聞き現代では誠に勿体ない話である。

さてそのホンマグロは、回遊するその一部が日本海流が北上するのに乗って、能登半島の沖合まで来て富山湾に入ってくる。丁度氷見の沖7kmあたりで暖流と寒流がぶつかる地点があり、その為湾内の定置網に入るといふ訳である。なかでも6月上旬から下旬迄の二十日間くらいの間は、その肉質に水気が少なく、身の締まりが良くマグロとして最高の状態の

ものが揚がる。回遊の時期とマグロの肉質が良い時が一致する氷見マグロが全国的にも有名になった訳である。しかし回遊途中でまだマグロが若い故、脂の乗りが薄く、大トロ・中トロという訳にはいかないが、こと赤身についていえば鮮度の良い魚の身はおおむねムチムチ感はあるが、地のマグロの足元にも及ばない。一度食した人は、つきたての餅みたい、うしろの様だ、いや生ゴムの弾力だ。いずれにせよ抜群の食感である。

鮭職人として魚とシヤリ(米)の微妙な取り合わせが鮭の鮭たる所以であるが、地のマグロの肉質を考えた時、誠に悩ましいことである。その弾力ゆえ醤油をほとんど跳ね付けるのも大きな特長である。

最後に、恵まれ過ぎて気付かないこともある食の安全、食の自給率を考える時、一年を通じて富山湾は魚の宝庫であり、まさしく自然の生け簀である。この恵みを授けて下さった神にも感謝を忘れず、いつまでもこの自然が続くことに深く祈りを捧げたい。

### 氷見マグロ鮭



## 神道

# いろは

### 出産と育児に関する

#### 神事などについて

#### 教えて下さい

妊娠や子供の誕生、成長の過程で、子供が無事に生まれ、丈夫に育つことを願うさまざまに産育に関わる神事が行われます。

妊娠五ヶ月目(地域によって日数に相違)の戌(いぬ)の日には、帯祝いと称して、妊婦の腹に木綿の布で作られた腹帯(岩田帯)を巻きまします。これを戌の日におこなうのは、犬は多産ということにあやかるといふため、この世と来世を往復する動物と考えられていること、また、よく吠えて家を守るため邪気を払う意味があるといわれています。また、腹帯には胎児を保護する意味があるほか、胎児の靈魂を安定させるなど信仰的な意味もあります。といわれています。



射水神社安産祈願のおさがり

皇室に於いても、一般の帯祝いと同様の「着帯(ちやくたい)の儀」があり、御懐妊五ヶ月目の戌の日に、「内着帯(仮着帯)」を行い、九ヶ月目の戌の日に正式な「着帯の儀」が行われます。この儀式に用いられる帯は、まず、宮中三殿に納められ、その後に着帯が行われます。

生後三十日前後に氏神様にお参りすることを初宮参りといい、神様のお力によりこの世に生を享けたことに感謝するとともに、氏子の一員として氏神様に承認戴く行事です。また、百日前後にお食い初めといい、お祝いの食事を食べさせる行事がありますが、これも一生食物に不自由なく過ごせるようにという願いがこめられたものと考えられています。

# 『ふるさと』

## 射水神社

### ⑨ 射水神社 社伝(その2) 「越中二守山由来」の要約 の続き

古来、四門という所は、南門は今の大門町、西門は手洗野、北門は渋谷（雨晴）、東門は城光寺村である。寺社領一里四方を元正天皇より賜った。行基は国家安全のため鷹王山、大岩山等を建立して当山に帰り、人身御供の民数千人の供養として一万部の経文を浄写した。その経文を納めた塚が二上山にある。地主悪王子大権現へは毎月右の人身御供を備えて、月々五日宛お供えする約束をせられた。その旨元正天皇へ申し上げられ、元正天皇より人身御供の代わりに、地内から各戸毎に十五歳以上より初穂米を一升二合宛、神に供えるようお命じになった。それより毎年知識御穀米を集めるこ

とになったが、朱雀天皇の御代、承平年間の源平の兵火により堂宇すべてを焼失した。その後、村上天皇の御代、天暦年間に空也上人に再興の勅命が下され、堂社・仏閣・寺院百ヶ寺が建立された。二上山大権現、地主悪王子権現へのお供えも備え、国家安全の祈祷も勤めおる処に、天正年間の兵火により堂社・仏閣が再び焼失した。残った僧侶も三ヶ寺となった。

しかし、加賀大納言前田利長公が参拝され荒れ果てた様子を御覧になり、本堂・拝殿等建立を命ぜられ、御供領の石高もご寄進せられた。山内の拝領地は、西は海老坂山境より、東は城光寺の境、北は小竹山の境迄置かれた。拝領地の書類は所持している。その後、宝永年間、利常公より寺領拝領がなされ、先例の通り、越中国四郡から初穂米を取り立てることをお許しになり、毎年取り立てている。

一、神代より二守と申す理由は今以て牛玉（護符）に二守とあるからで、二上と改められたのは、養老元年大和國の二上山を勸請した故である。

一、四門の内、手洗野に有る二王門は寛永年中に今の所に移した。すなわち、二王尊、駒狗は運慶の作である。

二上山養老寺



高岡城本丸跡にある前田利長像

## 編集後記



本年も奉賛会総会が恙なく執行されました。関係各位のご協力に、深甚なる敬意を表するところでございます。尚本年の講演講師には、浅間大社の宮司様をお招きしました。当社奉賛会の基調講演では初の「神主さんのお話」ということで、編者も大変楽しみにしていました。内容の詳細は紙上にゆずりませんが、編者の感了した全体的感想は「射水神社での講演」というより「射水神社への応援」に聞こえる、渡邊宮司様のお人柄があらわれた、素敵な講演会でありました。宮司様のこれからの活躍を切にお祈りする次第であります。表紙の写真は神社大鳥居の前「二つ山」の写真です。この丘については市内在住の室谷芳隆様の文章を引用します。

高岡古城公園・ふたつ山  
「まんが道」の聖地

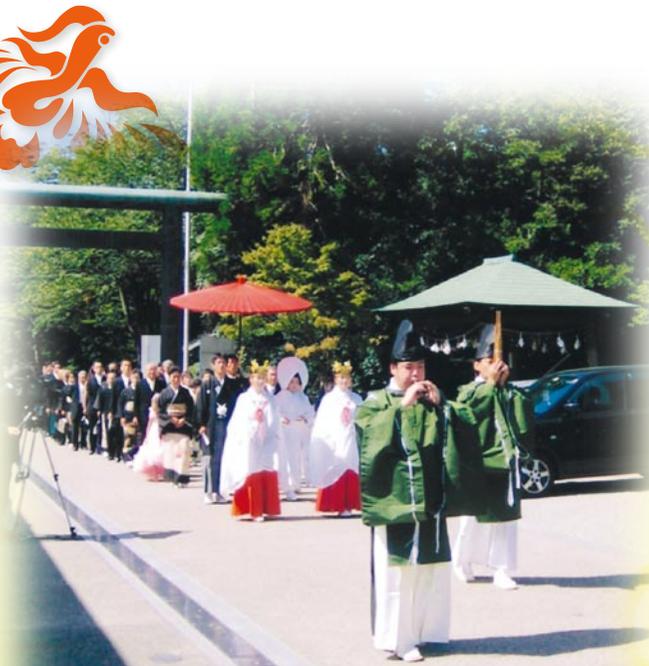
射水神社のそばにある相撲場の小高い丘のことを周辺に住む子供たちは「ふたつ山」と呼んでいます。

……中略……  
学校がとなりどうした藤子両先生は、授業が終わると校門で待ち合わせ、毎日のように古城公園の中を一緒に歩いて帰っていました。

時にはここ、ふたつ山に寄り、ここでまんがのアイデアの話や将来の夢を語り合っていました。

当社ご参拝の折には足をのばしてみては。

発行 射水神社  
発行所 〒九三三-〇〇四四 高岡市古城一  
TEL (〇七六六) 二二一三三〇四  
FAX (〇七六六) 二二一三七一五  
印刷所 キクラ印刷株式会社



# 参集殿通信

## 参進の儀

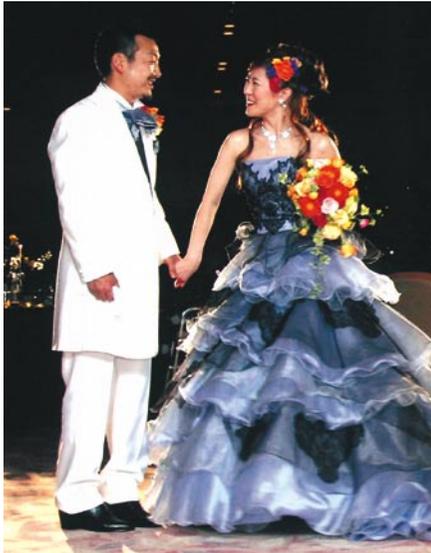
この誓いは、神に・永久とこに・共に

私たちのゆるやかな足取りは、いつもの移動とは何かが違う。  
それは今まで関わったすべての人に感謝。  
そして二人が、これからの困難にも、  
力を合わせて進む「勇気」の歩みだからかもしれません。



### —うつくしの杜ブライダルフェアのご案内—

*Utsukushi no mori Marriage Story*



平成20年4月挙式 大倉家 伊藤家 ご披露宴

*Utsukushi no mori Marriage Story*

#### うつくしの杜 夏フェスタ

平成20年7月13日(日)

10:00~18:00

- ・模擬挙式 11:00~・14:00~
- ・結びのセレモニー・ビデオレター
- ・会場コーディネート
- ・引出物展示
- ・試食会・ケーキ試食

#### 婚礼相談会

平成20年7月5日(土)・12日(土)

19日(土)・21日(月)

10:00~17:00

- ・相談会
- ・結婚式場、披露宴会場見学
- ・婚礼DVD上映

うつくしの杜、結婚式場

## 射水神社

〒933-0044 高岡市古城1番1号(高岡古城公園内)

お問合せ (0766) 22-0808

URL ■ <http://www.imizujinja.or.jp>

Eメール ■ [jinja-k@mbs.sphere.ne.jp](mailto:jinja-k@mbs.sphere.ne.jp)